

# 令和4年度第6回和田区地域協議会 次 第

日時：令和4年8月17日（水）午後6時30分から  
会場：ラーバンセンター 第4研修室

1 開 会

2 議題等の確認

3 議題

(1) 自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」

4 事務連絡

5 閉 会

## 【今後の日程】

令和4年度第7回和田区地域協議会

9月21日（水）18：30～ ラーバンセンター 第4研修室

令和4年度第8回和田区地域協議会

10月19日（水）18：30～ ラーバンセンター 第4研修室

# 「(仮称)地域独自の予算」の概要(案)

## 1 「(仮称)地域独自の予算」をつくる背景、目的

- 上越市は、広い面積の中に、多くの山々や長い海岸線、豊かな水田、利便性に優れた市街地などがあり、地域ごとに育んできた歴史や文化なども様々です。
- この多様性は当市の魅力ですが、人口減少や少子高齢化などが進む中では、地域の活力を保つことが次第に難しくなっています。
- このような中、それぞれの地域の課題を解決し、活力の向上を図るためには、全市的な取組に加えて、地域の実情にあった取組を更に実現していくことが必要と考え、「(仮称)地域独自の予算」をつくることとしました。

## 2 「(仮称)地域独自の予算」で大切にしたいこと

- その1 地域住民の皆さんが、住み続けていく上で誇りや愛着を持ち、生活の満足感や質を高めていけるようにしたいと考えています。
- その2 地域と市が一緒になって、地域資源の活用や地域住民の皆さんの連携が深まるようにしたいと考えています。
- その3 地域の団体や地域協議会が取組を提案できるとともに、地域住民の皆さんに身近な機関である総合事務所やまちづくりセンターが、木田庁舎の各課等と同じように予算を要求できるようにしたいと考えています。



### 3 「(仮称)地域独自の予算」のポイント

※「総合事務所等」には、まちづくりセンターを含みます。

#### (1) 対象とする取組（「(仮称)地域独自の予算」で実現したい取組）

##### ① 地域資源を活用した新たな収入源や雇用の創出等につながる取組

特産品開発、販売促進、就業促進、交流人口増など

##### 【取組のイメージ】

- 地元の道の駅や青空市場等で販売する農産加工品（レトルト、漬物、ファストフード等）の開発・製造・販売
  - 例 妙高市長沢地区「手作りこんにやく」  
富山県南砺市「いもがい餅」（里芋入りおはぎ）
- 地元の森林や耕作放棄地を活用した、大都市部をターゲットにした苔や山菜の栽培・販売
  - 例 島根県江津市「ごうつコケプロジェクト」  
岐阜県郡上市「山菜王国郡上づくり構想」
- 地元の食材と施設を活用した、自然食を提供するレストランや農村レストランの運営
  - 例 広島県神石高原町(じんせきこうげんちょう)「自然食レストラン高原の風」  
三重県多気町(たきちょう)「せいわの里まめや」
- 地域の農作業と食品製造事業等の組み合わせ、集落農業の受け皿、空き家の模様替え・転貸などのビジネスモデルによる地域課題の解決と新たな雇用の場の創出（人口減少対策）
  - 例 清里区「星の清里協同組合」  
島根県邑南町(おおなんちょう)出羽(いずわ)地区「合同会社出羽」
- 地域の歴史的資産、自然資産等を活用した集客・観光の創出
  - 例 頸城区「くびき野レールパーク公開及び枕木交換事業」（地域活動支援事業）  
中郷区「二本木駅を核とした地域活性化事業」（地域活動支援事業）

##### ② 地域での暮らしやすさにつながる助け合い等の取組

生活支援、郷土愛の醸成、人材育成 など

##### 【取組のイメージ】

- 移動サービスと日用品小売店（日用品供給事業）を組み合わせた高齢者の外出支援
  - 例 岩手県北上市口内町(くちないちょう)地区「店っこくちない」  
十日町市仙田地区「道の駅 瀬替えの郷せんだ」
- エネルギー供給の拠点となるガソリンスタンドの経営引継ぎ
  - 例 高知県四万十市大宮地区「大宮SS」、宮城県丸森町筆甫(ひつぽ)地区「筆甫SS」
- 地域の自然環境等の活用・保全や、地域の生活拠点に活気を生み出す事業
  - 例 金谷区「滝寺自然公園整備と環境保全・保護活動」（地域活動支援事業）  
名立区「名立駅マイ・ステーション作戦事業」（地域活動支援事業）
- 地域づくりの実現や新たな取組の創出に向けた人材の研修や視察の実施、災害に対する備えと互助の精神を学ぶ講演会の開催
  - 例 大島区「大島地区活性化ビジョンの実現に向けた視察研修事業」（地域活動支援事業）  
三和区「東日本大震災にまなぐ事業」（地域活動支援事業）
- 区内多くの住民の参加が見込まれ、地域の連帯感醸成が期待される地域のイベント、偉人の顕彰
  - 例 高士区「ふるさと高士まつり」（地域活動支援事業）  
大瀧区「小山作之助の功績を称える事業」（地域活動支援事業）

## 対象としない取組

- ・新たな公の施設や市道などのインフラ整備
- ・単なる備品の購入・設備の設置など、地域の活動が伴わない取組
- ・公の施設の建設や修繕、新たな土地利用・行政サービス等を市に求めるために行う取組
- ・地域の住民や団体へ現金・金券などを配る・貸す取組
- ・政治活動・宗教活動を目的とする取組
- ・公序良俗に反する取組 など

## (2) 予算の上限額や取組の終期

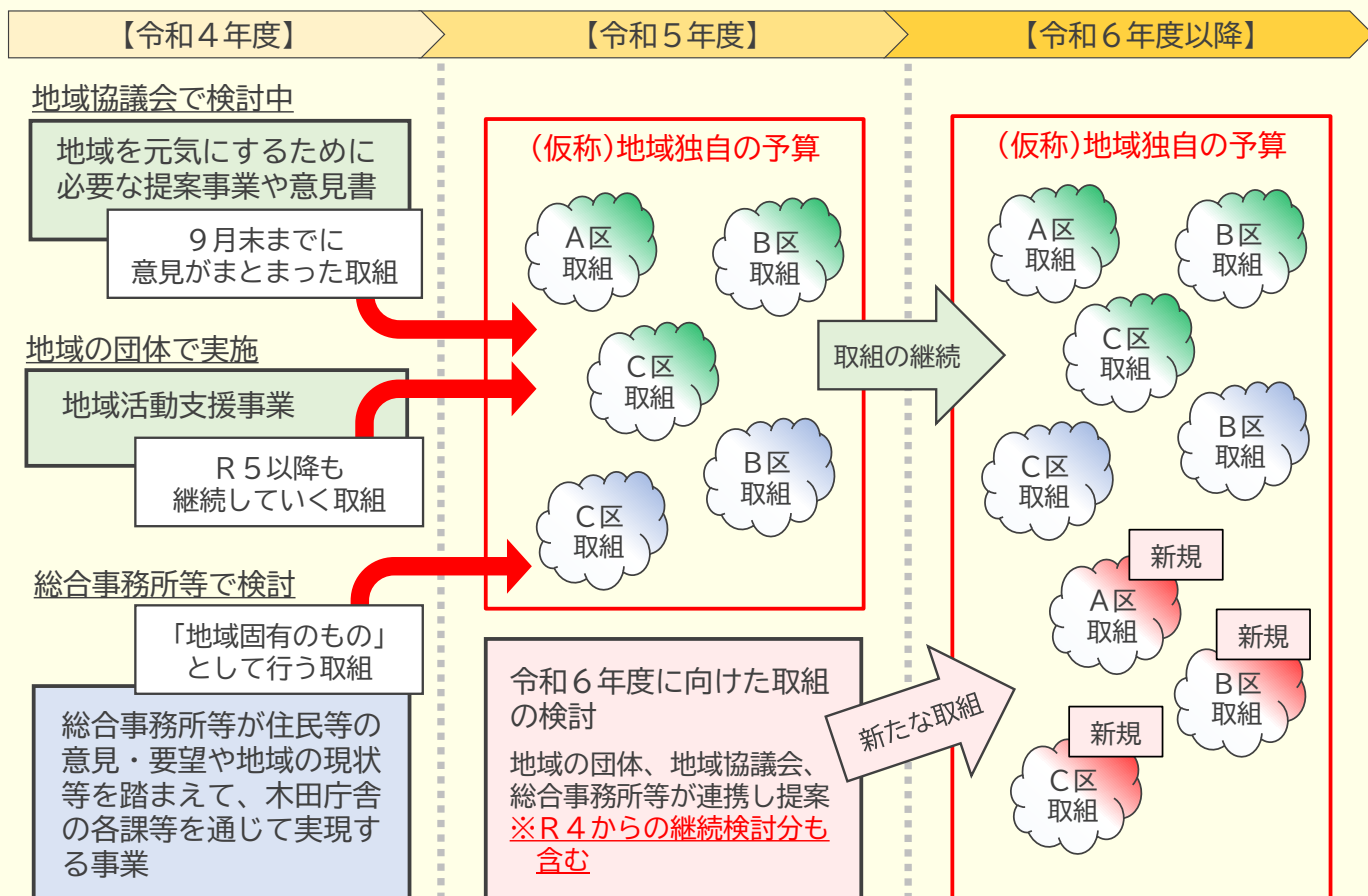
### ① 上限額

- ・原則、地域自治区ごとの取組件数や金額、また、1件当たりの金額の上限額は設けません。  
※予算化に当たっては、実現したい取組に対して真に必要な額を精査していきます。
- ・地域の団体に対して市が補助金を支出する場合は、補助率の上限を7/10とします。ただし、これまで地域活動支援事業を活用してきた取組のうち、左記(1)①・②に該当する取組は、令和5年度予算での補助率の上限10/10とし、令和8年度までに段階的に上限を7/10に見直します。

### ② 「(仮称)地域独自の予算」で実現する取組の終期

- ・終期は設けませんが、取組は4年ごとに取組成果を振り返り、今後の公費支出の可否や実施方法などの取扱いを改めて見直します。  
※例 令和5年度から継続していく取組は、8年度に見直します。  
※予算化する取組は、複数年度の継続を見込む取組であっても、毎年度、市議会での予算案の議決を要します。

## ◎ 「(仮称)地域独自の予算」でつくり上げる予算のイメージ図



「全市的な制度・事業」として行う取組は、木田庁舎の各課等がとりまとめ、これまでどおりの予算要求の手順を踏んで、全市の取組として実施



### (3) 予算ができるまでの流れ

#### ① 取組の提案

- ・ **地域の団体や地域協議会は、希望に応じて、総合事務所等に取組を提案**します。  
※提案された取組は、市の予算査定や市議会での予算案の議決を経て最終的に予算化されることから、提案されたことをもって、取組の実現を約束するものではありません。  
※総合事務所等も取組を提案します。

#### ② 関係者による取組案の具体的な検討

- ・ **提案者が中心となり、関係する団体や総合事務所等と互いに連携しながら、取組の実現に向けて調査・検討**します。

○ **地域の団体が提案し、自らの団体や総合事務所等が実施主体となる場合、地域の団体は総合事務所等とともに調査や検討を行います。また、他の団体に取組の一部をお願いする場合、地域の団体は総合事務所等と話し合い、関係する団体に調査や検討に加わるよう総合事務所等と一緒に働きかけます。**

○ **地域協議会が提案する場合、地域協議会は関係する地域の団体や総合事務所等とともに、調査や検討を行います。**

○ **総合事務所等が提案する場合、総合事務所等は取組に関わる地域の団体に調査・検討に加わっていただくよう働きかけます。**

※ 調査や検討の内容により、木田庁舎の各課等も連携や実務を担います。(次の③も同じ)

※ 総合事務所等は、適宜、地域協議会と情報共有していきます。

#### ③ 予算要求

- ・ **総合事務所等は、予算の原案をつくり、財務部に要求**します。  
※15区では、まちづくりセンターの体制を考慮し、自治・地域振興課がとりまとめて要求します。  
※地域の団体は、総合事務所等と連携しながら次年度の取組実施に向けた準備を始めます。

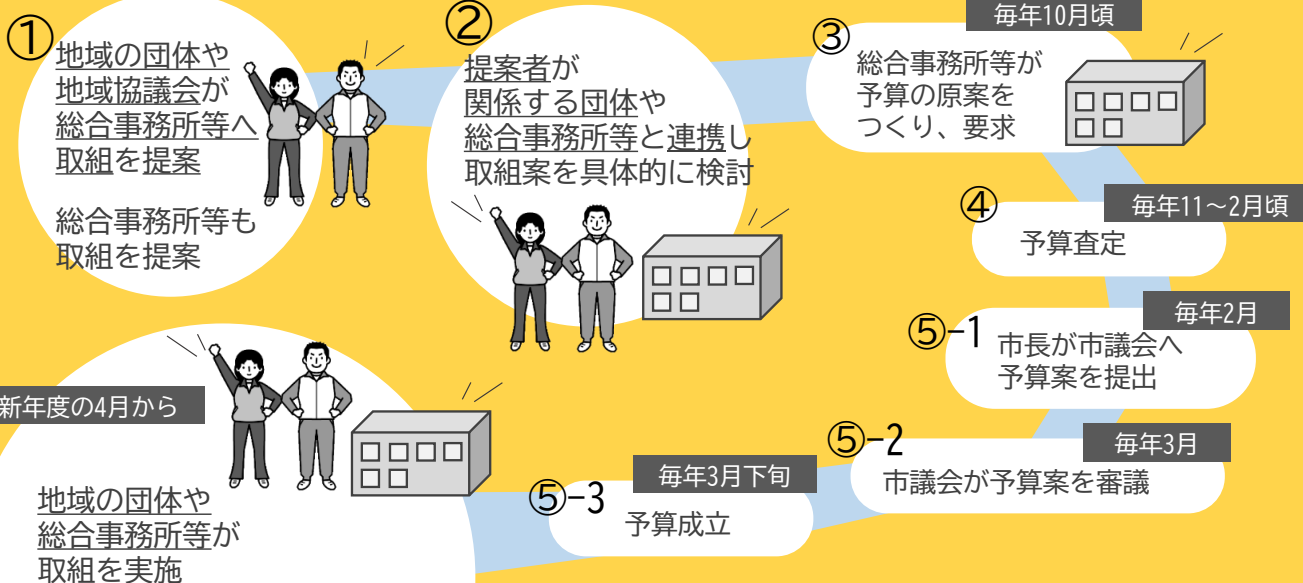
#### ④ 予算査定

- ・ 予算要求後は、財務部を中心とした協議を経て、**最終的に市長が予算案への計上の可否を決定**します。

#### ⑤ 市議会へ予算案を提出 → 市議会の予算審議 → 予算成立

- ・ **市長が市議会へ予算案を提出**し、**市議会が予算案を審議**します。

「(仮称)地域独自の予算」ができるまでのイメージ(令和5年度予算案から実施)



1実施日時 令和4年8月7日(日) 16:00~17:10(晴れ)

2参加者 委員7人 (有坂会長、宮崎副会長、草間委員、佐藤勝雄委員、篠原委員、平原委員、山岸委員)

3視察場所 上越妙高駅西口、東口周辺

#### 4 視察内容

##### (1) フルサット(駅西口)

フルサットさんの説明概要

- ・新幹線開業1年後の2016年6月からフルサットがぎゅっと詰まったコンテナ商店街として飲食店等が営業しており、7年目となった。
- ・コンテナの一つを上越市の coworking スペース補助金を使用して整備した。奥はカフェを営業している。
- ・ coworking スペースには、平日にビジネスの方が遠方から来る。市内を営業でまわられ、 coworking スペースに立ち寄り、営業の成果等をズームで会社へ報告して、お茶を飲んで新幹線で帰られる方達もいる。市内でリモートワークされている人も結構おり、家から環境を変えてやってみたい人が来る。駅前にある拠点として、助かると皆さんおっしゃっている。
- ・コロナ禍であり、飲食店が結構大変な状況である。駅前なのでいろいろなお客さんが来る。コロナの安全対策をしながら営業している。
- ・今日はラーメン屋さんが自主的に共有エリアでイベントを開催している。先月は別のお店がイベントを開催した。各店舗がお客さんや仲間とイベントをして発信している。
- ・今日は魚沼市や妙高市から来られて、野菜やクラフトビールを提供したりしている。他の店舗でもイベントをやりたいという声がある。
- ・情報発信はSNSだと費用がかからず発信できるが、紙でないと届かないところもあり、なかなか大変。
- ・それぞれが個人事業主の集まりで大きな宣伝や発信は難しいが、集まって発信するということで、運営サイドでも各々が営業しやすいように発信していきたい。
- ・草刈りなど地域の皆さんに少しずつ手伝っていただいていることがあり、ありがたい。
- ・地域活動支援事業(提案団体:上越妙高ウエルモ会)で7月に地域の人達と花植えをしたプランターがあり、間もなく各事業所前に配置して管理いただく予定。今年度は釜蓋遺跡ガイダンスでも2つ管理してもらえることになった。



##### (2) JM-DAWN(駅西口)

(株)丸互さんの説明概要

- ・昨年12月にオープンしたローカル5Gラボで、スタジオ、 coworking ゾーン、進出企業があるサテライトオフィスゾーン等がある。
- ・JM-DAWNは上越妙高の夜明けという意味を込めて名付けた
- ・ローカル5Gには多額の費用がかかり、県、総務省等から支援の採択を受けた。
- ・ローカル5Gは産業用。スマホは繋がらない。
- ・13の企業、団体が構成された「産・官・学・金」のコンソーシアム(共同事業体)でやっている。
- ・県の最大の課題は人口減少。若者が希望する就職先が少なく地元に残らない。コロナで働き方が変わってきている。上越妙高駅は各所に繋がる国内でもポテンシャルの高いジャンクション。ローカル5Gを持ってきて、企業から実証実験をしてもらい、スタートアップ企業・地元企業による産業・技術の創出、交流人口の拡大等を図りたい。
- ・ローカル5Gの実証実験として、建設業・製造業等業務効率化、次世代観光、スマート農業、市民生活・教育充実を想定している。例えば、ドローンの活用、除雪機に4Kのカメラをつけて遠隔操作をする等。
- ・スタジオ、釜蓋遺跡公園といった屋内外でローカル5Gの実証実験ができ、新幹線駅前でもあり、国内でも稀有な場所で注目を受けている。
- ・西口においてフルサットさんとも提携している。
- ・駅前は飲食店、温泉、コーヒー店、ホテルもありいい場所。東京から来た人がとびこみで使ったり、会議、セミナー等で使っている。
- ・地域の皆さんも気軽に来てほしい。



##### (3) 駅自由通路

- ・西口の光のテラスから、釜蓋遺跡ガイダンスの看板が見えることを確認した。

##### (4) 旧コスガ家具跡地、旧JA跡地(駅東口)

- ・研修当日は猛暑のため、自由通路東口側から見て、位置を確認した。

##### (5) その他

- ・参加委員より、えちごトキめき鉄道沿いに草が茂り、写真を撮っている人の妨げになっている等の意見があった。





吹上・釜蓋遺跡応援団との意見交換会を経て、第5回和田区地域協議会が出た意見及び今後の方向性（案）

当日配布資料No.3

区分	意見	今後の方向性（案）
施設	（意見交換会の意見「佐渡にあるようなミュージアムをつくる」の補足） 佐渡に行くと大きい建物の中に物語的にある。人形が田んぼを耕していたり。飯山にも人形館があり、あのような感じのものがあるとよい。	必要性を検討の上、市への要望を見据える。
	上越妙高駅のエリアに外から人を呼び込む。例えば、釜蓋遺跡の中にカフェをつくる。美術館をつくる。お金はかかるが、せつかく遺跡があるので、遺跡が盛り上がるようになればよい。	
	屋外トイレがあるとよい。芝生広場等の活用を見据えて。	
お花	（意見交換会の意見「花畑のリレーをつくる」の補足） 花が一種類になりがちだが、春から秋までを通じて花が随時変わって咲いている状態がよい。ボランティアの方の手数等の課題はあると思うが。	吹上・釜蓋遺跡応援団と協議する。
	釜蓋遺跡公園の花の水くれの水の用水費等が必要になるのか疑問をもった。 （⇒事務局が市担当課に確認したところ、水道を利用しており、水道料金は市負担とのこと）	—
	釜蓋遺跡公園の花の水くれに雨水を補助的に利用できるとよい。そのための設備を設ける。水道を使っている場合、水道料金の節約にもなる。	必要性を検討の上、市への要望を見据える。
案内、PR	意見交換会の意見をみると案内や看板のことが挙がっている。例えば、春や秋の遺跡まつりの様子を案内看板に表示して設置すると、あそこに遺跡があると分かってよい。	必要性を検討の上、市への要望を見据える。
	遺跡は駅前で一番目玉になると思う。コロナ禍もあり、遺跡の掘削がストップしているとのことだが、遺跡の掘削に興味を持っている人は全国的にいると思うので、PRして来てもらえればよい。	
	吹上・釜蓋遺跡応援団が小学校の課題授業での勾玉づくりや土器づくりのお手伝いをしてきたとのこと。市内の小学校へのPRを更に強力に行うとよい。子どもが来ると家族が来て、更に地域に広がり、賑わいができるのではないかな。	
	上越大通りやバイパスからの案内、誘導を考えた方がよい。	
活動	吹上・釜蓋遺跡応援団が人手不足ということで、吹上・釜蓋遺跡応援団のお手伝いや協力をする。	吹上・釜蓋遺跡応援団のお手伝いや協力の方法を検討する。
	吹上・釜蓋遺跡応援団以外の他の団体と意見交換をする。	意見交換先を検討する。
	吹上・釜蓋遺跡応援団と他のどこかの団体をマッチングして、活動するための金銭的な部分のバックアップを地域協議会として協議する。	令和6年度予算に向けて地域独自の予算の提案を検討する。
その他	お金をかけなくてもできること、お金をかけないとできないものがある。	—
	釜蓋遺跡公園の土地等の権利関係はどうなっているのか。 （⇒事務局が市担当課に確認したところ、釜蓋遺跡公園（ガイダンスを含む）の所有及び管理は基本的に市。現状変更は国の許可を要する）	
元気事業	（途中、事務局から元気事業について補足） ・自主的審議を進めた中で、地域団体の取組を通じて課題の解決を図る際、市の協力（資金等）が想定される場合、元気事業として市に提案する方法がある。なお、市の令和5年度予算への反映を図る場合は9月を目途に提案する。 ・元気事業の要件は、①地域団体等との意見交換を通じて把握した課題への対応であること②地域団体等が主体的に取り組む事業であること③市の協力（資金等）を求めることから、事業提案の検討の段階から市が協議に加わる	—
	今回の意見交換会のテーマは「釜蓋遺跡等を活用した上越妙高駅周辺の活性化」だったことから、「集客の目玉づくり」という観点で、地元の人々が主体的にできる活動があるのか等を考えていくのがよいのではないかな。	令和6年度予算に向けて地域独自の予算の提案を検討する。
	元気事業の対象経費は、ハードかソフトか。 （⇒事務局「特にハードの経費、ソフトの経費という決まりはない」）	—
	元気事業は地域協議会が提案するのか。 （⇒事務局「地域協議会が提案する。自主的審議を経た方向性として元気事業、意見書などがある。地域活動支援事業に載せるという方向性もあったが、地域活動支援事業は今年度で終了する方針」）	—
	元気事業は9月まで時間がなく、無理だと思う。事務局の体制も総合事務所とまちづくりセンターでは平等ではないと思う。	令和5年度予算に向けた提案はしない。
	元気事業は地域協議会が案をまとめるのか。 （⇒事務局「地域協議会が地域の実施主体と協議をしてまとめていく」）	—
	元気事業は内容が分からない。今年の9月までは無理だと思う。来年の9月までという形になるのかなと思う。	令和6年度予算に向けて地域独自の予算の提案を検討する。

## 自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」の審議経過

## ①令和3年3月18日 令和2年度第9回和田区地域協議会

- ・これまでのグループ協議などを経て、委員から出されたテーマから「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」を今後話し合うテーマとした。

グループ討議などを経て出されたテーマ

- ・大和、和田保育園の整備・改修について
- ・**上越妙高駅周辺の整備、活性化について** ⇒ 今後話し合うテーマに決定
- ・高齢者支援について
- ・通学路等の安全確保について
- ・世代を超えた意見交換会の設定について
- ・地域コミュニティの醸成について など

## ②令和3年6月24日 令和3年度第2回和田区地域協議会

- ・「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」を自主的審議事項として決定。

(概要) 上越妙高駅が開業して6年が経過し、上越市の玄関口として駅周辺の整備が進んでいるが、進んでいないところもある。また、コロナ禍において駅周辺の活性化が困難になっている面もみられる。駅周辺の活性化に向けて、整備の状況や今後の方針などを把握するとともに、活性化策について話し合うもの。

- ・各委員が思い描く上越妙高駅周辺の活性化について意見をいただく。意見は「公共施設の整備による活性化」「民間企業、店舗等の進出による活性化」「道路、交通の整備による活性化」「賑わいの創出による活性化」の4つに区分された。

## ③令和3年7月28日 令和3年度第3回和田区地域協議会

- ・現状把握のため、市の交通政策課から上越妙高駅周辺の土地利用等の説明を受ける。

## ④令和3年9月29日 令和3年度第4回和田区地域協議会

- ・第2回地域協議会で釜蓋遺跡に係る活性化の意見(「賑わいの創出による活性化」に区分)があったことから、市の文化行政課から釜蓋遺跡の説明を受ける。

## ⑤令和3年10月13日 令和3年度第5回和田区地域協議会

- ・市担当課の説明を受け、先の区分「賑わいの創出による活性化」に着目し、釜蓋遺跡を現地視察することを決める。

## ⑥令和3年11月14日 釜蓋遺跡公園と釜蓋遺跡ガイダンスの現地視察

- ・現地視察を実施。

## ⑦令和3年11月17日 令和3年度第6回和田区地域協議会

- ・現地視察を経て、委員から釜蓋遺跡の活用による活性化等の意見をいただく。

## ⑧令和4年2月16日 令和3年度第8回和田区地域協議会

- ・事務局より、先の4区分の意見に係る直近の状況を説明(市関係課に確認したもの)。
- ・委員より、地域が市へ要望している内容を地域協議会で共有した方がよい旨の意見がある。

## ⑨令和4年4月20日 令和4年度第1回和田区地域協議会、委員研修

- ・これまでの審議経過の振り返りを行う。
- ・委員研修では、和田地区振興協議会の笠原会長より、和田地区振興協議会が上越妙高駅周辺に関して2月に市へ要望した内容の説明を受ける。

## ⑩令和4年5月18日 令和4年度第2回和田区地域協議会

- ・事務局より「地域自治推進プロジェクト及び令和4年度の地域協議会の取組等について」説明。
- ・自主的審議の今後の進め方について、意見出しを行う。

## ⑪令和4年6月15日 令和4年度第4回和田区地域協議会

- ・第2回地域協議会で出た意見を基に協議した結果、今後、吹上・釜蓋遺跡応援団との意見交換会、上越妙高駅西口・東口周辺の現地視察を行う方向となる。

## ⑫令和4年7月18日 吹上・釜蓋遺跡応援団との意見交換会

- ・釜蓋遺跡ガイダンスにおいて、「釜蓋遺跡等を活用した上越妙高駅周辺の活性化」をテーマとして吹上・釜蓋遺跡応援団との意見交換を実施。

## ⑬令和4年7月20日 令和4年度第5回和田区地域協議会

- ・釜蓋遺跡応援団との意見交換の内容を基に、課題と思われること、元気事業の提案に関して等の意見出しを行う。

## ⑭令和4年8月7日 上越妙高駅西口・東口周辺の現地視察

- ・現地視察を実施。